

いのちを守る 耐震改修

令和6年1月1日、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が発生しました。被災地には、耐震性の低い木造家屋が多く、被害が拡大した可能性が指摘されています。近い将来、発生が想定される南海トラフ地震に備えて、住まいの耐震化に取り組みませんか。

県の平均耐震化率が90%を超える中、本市は65.1%…。



実際に耐震改修を行った方の声

以前、耐震改修について相談したことがありますが、大がかりな工事が必要と言われ、住みながらは無理そうだったので諦めました。でも、昨年度の広報で、新工法を使えば住みながらでもできると知り、耐震改修することを決めました。家が古く、いつ大きな地震が来るかわからないため、ずっと不安でしたが、耐震改修してからは安心感があり、やってよかったなと思っています。また、昨年度から補助金の上限が20万円引き上げられ、ありがたかったです。



築47年 木造2階建て
工事期間:6週間

費用:
工事費・設計費 約200万円
補助金 140万円
自己負担 約60万円



耐震診断を担当した建築士の声

先日、能登半島地震がありました。映像を見る限り、1階がつぶれている家が多いです。実際、耐震診断をしても、1階の数値が悪いことが多いですね。建物を補強すれば、倒壊を防いだり、逃げる時間を確保したりすることができますし、なにより、耐震改修は“安心”を買ってもらうためのもの。一度、耐震診断だけでも受けてみてはいかがでしょうか。



有限会社 ワズ建築設計室 鈴木 良和

耐震化を支援します

対象 昭和56年5月以前に着工された2階建て以下の木造住宅

※非木造住宅には、耐震診断費用の一部補助があります

無料

耐震改修相談

工事費など気になることにお答えします。

とき 第2回～5回 午前10時～午後4時
ところ 建築住宅課
申し込み 前日までに直接または電話で建築住宅課へ。

無料

耐震診断

申し込み 申込書（建築住宅課、市ホームページにあります）を直接または郵送で建築住宅課（〒443-8601）へ。もしくはQRコードから。



耐震改修補助金

- 耐震改修 上限 140万円 ※精密診断以外による改修は上限 120万円
- 段階的耐震改修 上限 60万円
- 解体 上限 20万円
- 耐震シェルター設置 上限 25万円 ※65歳以上の高齢者・障がい者世帯に限る

